

2 世界恐慌と日本の中国侵略

課題 満州事変はどのようにして起こり、日本の政治はどのように変化していったのでしょうか。

④ 満州事変と軍部の台頭

(1) 満州事変と日本の国際的な孤立

1927年 () 率いる中国国民党が中国統一に乗り出す。→

1931年 () 事件

中国において日本が持つ権益を取りもどそうとする動きが強まる。
南満州鉄道の路線を爆破し、これを機に軍事行動を始めた。



1932年 清朝最後の皇帝 () を元首とする () を建国する。

実質支配していたのは……… ()

1932年 国際連盟は () を団長とする調査団を満州に派遣する。
→満州国の建国を ()、日本軍の占領地からの () を求める。

1933年 日本は国際連盟を () する。



満鉄の線路を調査するリットン調査団



国際連盟脱退 国際連盟本会議場で、総会の決議に抗議する日本の代表松岡洋右。
賛成42票 反対1票(日本)
日本軍の満州国からの撤退が可決された

国際連盟を脱退することが書かれた新聞記事



組

番

(2) 軍部の発言力の高まり

強力な軍事政権を作り、国家を作り直そうという動きが活発
1932(昭和7)年 5月15日
満州国の承認に批判的な総理大臣の () は
海軍将校の団によって暗殺される。
日本の () の時代が終わる。



(3) ニ・二六事件について調べよう。

1936(昭和11)年 2月26日
陸軍の青年将校に率いられた 1400 名余の歩兵部隊が決起し、首相官邸・国会議事堂・参謀本部・陸軍省などの要所を占拠した。反乱は鎮圧されたが、大蔵大臣などを殺害した。



これらの3つの事件により日本は…

軍部は () ますます強め、
() を推し進めた。



◆この結果、日本はファシズム諸国に近づくようになった。

1936年 ドイツと () を結び、1937年にはイタリアを加えた三国の結びつき (日独伊三国防共協定) が形成される

まとめ
